

指先で 踊り紡ぐ の音楽史

J.S. バッハ / 阪田知樹

アダージョ BWV564

J.S. バッハ / F. ブゾーニ

シャコンヌ BWV1004

R. シューマン

蝶々 op.2

F. シューベルト / F. リスト

ウィーンの夜会 S.427/R.252 より

第6番 イ短調

M. ラヴェル

高雅で感傷的なワルツ

G. ガーシュウィン / E. ワイルド

7つのヴィルトウオーゾ練習曲より

M. バラキレフ

イスラメイ

阪田 知樹

ピアノ・リサイタル

～指先で紡ぐ踊りの音楽史～

スペインに起源を持つとされる世俗的な舞曲の名の下、J.S. バッハが神聖な芸術作品をヴァイオリン一挺の為に遺し、後の作曲家：ブゾーニが、ピアノの名技巧でオルガン的な音響を引き出した『シャコンヌ』。

ドイツの作家：ジャン・パウルの小説『生意気盛り』より「仮面舞踏会」の場面にインスパイアされて作曲され、シューマン独自の二面性が遺憾なく発揮された『蝶々』。

リストがシューベルト『高雅なワルツ』と『感傷的なワルツ』から抜粋し、鮮やかな技巧で彩り再構成した『ウィーンの夜会』より第6番。

シューベルトのワルツより影響を受け、皮肉な微笑みを浮かべながら繊細かつ大胆な和声と技巧で描いた、ラヴェルによるピアノ作品の頂点とも言うべき『高雅で感傷的なワルツ』。ラヴェルを尊敬していたアメリカの作曲家：ガーシュウィンによる『アイ・ガット・リズム』など数々のミュージカルナンバーを、アメリカの名ピアニスト：アール・ワイルドが持ち前の超絶技巧で大人の味わいに仕上げた『7つのヴィルトウオーゾ練習曲』。

そして、リストが愛好し、ラヴェルが『夜のガスパール』を作曲をする上で目標としたと言われ、今なお超絶技巧曲の代名詞となっているバラキレフによる舞曲と民謡を基にしたピアノ独奏の為に幻想曲『イスラメイ』。

鍵盤上で華麗に舞う指先が描く、古今東西の踊りの世界をお楽しみ頂けたら嬉しいです。

阪田 知樹

ミュージザ川崎 アフタヌーンコンサート The Finale Season

2022年 10 | 9 [日] 午後 1:30 開演

ミュージザ川崎シンフォニーホール

指定席 5,000円 舞台後方席 3,000円 (税込)

(ミュージザの会料金：指定席 4,500円 舞台後方席 2,700円)

※友の会割引はミュージザ川崎シンフォニーホールのみでの取り扱いです。

当日学生券：25歳以下の学生の方は残席がある場合に限り公演当日午後1時よりお一人様1,000円(指定席、後方席共)にて当日券を販売いたします。ご購入の際学生証をご提示ください。(事前予約不可)

お申込み・お問合せ：神奈川芸術協会 045-453-5080

www.kanagawa-geikyo.com

芸協webチケット geikyo.pia.jp ⇒

主催：神奈川芸術協会 協力：ミュージザ川崎シンフォニーホール(川崎市文化財団グループ)

プレイガイド：ミュージザ川崎シンフォニーホール 044-520-0200 <http://muza.pia.jp>

チケットぴあ t.pia.jp (Pコード：216-390)

ローソンチケット l-tike.com (Lコード32487) イープラス eplus.jp

ご注意：未就学児童は入場できません。感染症対策の為マスク着用の上で来場ください。公演中止を除きご購入いただいたチケットの払戻はできません。やむを得ぬ理由により曲目・曲順が変更になる場合がございます。予めご了承ください。

